

の危機に近づかぬ、それと同時に無産階級運動の飛躍的進展を見るに至つた。一方に於て支配階級は必死の努力を揮つて現制度の維持に努力し、無産階級に對しては汲み置き弾圧の刃を揮ひつゝある。

翻つて欧州大戦後の我國労働運動を見れば、無産階級運動の世界的榮達に刺戟せられた我國の労働運動は非常なる意氣と白熱的奮闘とを以て階級闘争に参加して来た。これに依つて我國労働階級の戦闘分子は労働階級解放の目的と使命とを元分自覚するに至り、幾多の試練を経て漸く我國的労働組合の基礎を確立するを得たのである。

元來我國の資本主義は頓激ある榮達を遂げざる

に、世界の激烈ある帝國主義的形勢下に壓迫された結果、早熟のみに資本主義榮達の最後の段階たる帝國主義の形態を採るに至つた。故に我國の資本主義は自由主義を経ずして直ちに軍國主義化し、従つて專制的色彩を多分に帯び、無産階級運動の自由を抑圧する幾多の障礙を横つし、形勢の不利の上には將に高漲に達しし右の世界的階級闘争の榮達は欧州大戦を漸くにして自覚せし我國無産階級の少数分子をして、その思想的水準を急激に高めしめたが一方に於て労働組合の無産階級解放運動に於ける使命と職分とを元分認識する事を得なかつた。斯の如き形勢は必然的に無